

釧路市教育委員会教員研修2015 報告書

授業実践力向上 「野外を使った教科教育の可能性（主体的な学びのために）」



日程：2015年8月5日（水曜日）10：00-16：00

講師：山本 幹彦（NPO法人 当別エコロジカルコミュニティー代表）

主催：釧路市教育委員会

協力：一般財団法人 前田一步園財団

1 概 要

【事業名】 釧路市教育委員会教員研修

【テーマ】 アウトドア（教室の外の環境）を有効に利用した教科教育の理論と実践

【目 的】 野外教育の理論と実際のフィールドでの実習を通じて、すべての授業を教室と教室外（校庭や近くの自然）で行うこと具体例と効果について、スウェーデンなどの事例と共に紹介し、皆さんの教室への導入の可能性と具体性について参加者皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

【目 標】 1) 具体的なアクティビティを体験して興味を持つ
2) 一緒に実践していく仲間を作る
3) 授業で取り入れていく意欲を持つ

【日 程】 2015年8月5日（水曜日）10：00-16：00

【場 所】 阿寒湖まりむ館・前田一步園財団の森

【参加者】 8名

男女比：女：8名

【講 師】 山本 幹彦（NPO法人 当別エコロジカルコミュニティー）

【主 催】 釧路市教育委員会

【協 力】 一般財団法人 前田一步園財団

2 記録

9:30 【集合・受付】

10:00 【開校式・講師紹介】

釧路市教育委員会より



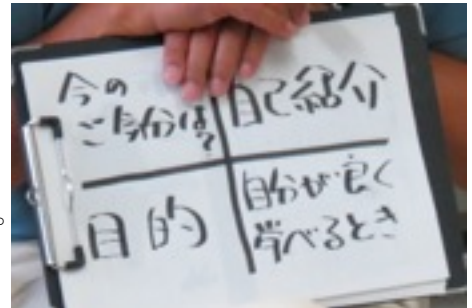
【講師自己紹介・オリエンテーション】

講師の山本より、自己紹介とオリエンテーション。



【お互いを知ろう・参加者自己紹介】

各自にA4用紙を配布し、その用紙を4等分して、1)今の気持ち、2)自己紹介、3)参加の目的、4)自分がよく学べる時を一言で、という4つの設問で各自が発表した。



【アウトドア環境教育アクティビティ体験】

「まりむ館」より前田一歩園の森に移動して野外を使ったアクティビティを紹介し、授業で使えるアイデアを話し合った。



12:00 【昼食】

13:00 【授業案作り】

海外で開発された森をフィールドとした体験学習教材を一人一つ取りあげ、教科を自分で設定し、自分なりの授業案を作った。



14:00 【グループを作って発表】

昨日、一昨日と行った吉田さんのワークショップで行っていた「大切な友達」の手法でグループ毎に発表とフィードバックを行った。



15:00 【ふりかえりとわかちあい】

短い時間になりましたが、参加者から感想を聞いて、研修の気づきを共有した。



15:55 【閉講式】

16:00 【終了】

3 所感

釧路市教育委員会主催になる夏休み教員研修の特設クラスとして2年目。参加者は昨年のリピーターを含めて8名だった。昨年は学生の参加が多かったが、今年は財団の都合から研修内容について教育委員会との直接の打合せが出来ず（7月17日にやっと打合せが出来た）、募集案内時点（5月）での研修内容がぼけてしまったことと、TECからの参加募集の広報が7月まで出来なかったことから野外を使った主体的な学びを模索されている先生たちへの周知が上手くいかなかった。

内容はアクティビティーをベースとした参加者自身の興味関心に即した授業案作りをメインとし、単なるワークショップでグループでアイデアを出すだけではなく、参加した先生一人ひとりの関心に基づいた授業案づくりとしたことで、今回の研修が今後も継続していけるような構成とした。結果として全員からメールアドレスを教えていただき、継続研修の意志を表明されている。このことはアンケートにも少し書かれているが、研修の最後におこなったふりかえりに詳しく表現されているのでそのコピーをそのままコピーして報告に加えさせていただいた。この内容から、今回の研修には単なるアクティビティの習得を目的としているのではなく、主体性・野外をキーワードに集まった比較的モチベーションの高い参加者が多かったことが伺える。このことから、この2つのキーワードを全面に打ち出し、単なる教え込む教育から主体性や創造性を育む教育の提案と協同で模索していく先生や指導者を対象とした阿寒湖での研修は釧路市内だけではなく（釧路市内だけでも8名集まったので）、全道、全国に早くから、また、主旨を上手く伝える広報が出来れば阿寒湖発の野外を使った教育の発信に繋がるものと確信を得た。

4 アンケート

平成27年度

〈釧路教育研究センター〉

研修講座アンケート

研修講座名	実施日
野外教育実践（教え方とプログラム）	平成27年8月5日（水）

【講座参加状況（人）】

受講者数	アンケート回収				
	12	8人			
20代		30代	40代	50代	?
3人		1人	2人	1人	1人
37.5%		12.5%	25%	12.5%	12.5%

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総体的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	7	0	0	
	専門性を高める立場から	5	2	0	
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	5	3	0	
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	7	0	0	
	講義・発表・協議の内容について	6	1	0	
	実技・実習・演習の内容について	7	1	0	
	研修の進め方について	7	0	0	
研修の運営	研修の日程について	8	0	0	・宿泊を伴う講座はできないでしょうか。
	研修の会場について	7	1	0	
	講座の参加手続きについて	8	0	0	
その他の要望・意見・感想	<ul style="list-style-type: none"> ・久々に、環境教育について考えた1日でした。今後、学校教育の中でどのように取り入れていくのか、考えていきたいと思えます。 ・学びのある研修でした。ありがとうございました。 ・もっと参加したいです。 ・とても有意義な時間となり楽しかったです。ありがとうございました。 ・実践に生かすことができそうです。元気が出ました。ありがとうございました。 ・夏休みのこの時期、フィールドでの研修を企画していただき、ありがとうございました。来年もお願いします。 ・楽しかったです。いろいろと考えるきっかけになりました。 				

5 資料 (参加者ふりかえりシート)

1). 以前に学んだことが、つながりました。
Howard Gardner の Multiple Intelligences Theory と
協働(共同)学習とか、つながります。ちねとね。体も「意欲も」
回復しました。(あと定年まで、5年半おこす。各々おこす
ことが、あつた。いっしょにやります。)あつたこと、感じます。
授業工夫してみます。

2)and 3) 発達障害傾向のある人々には、日本の教育が「変な世界」
の中にある。その中で学ぶのは、たぶん、2と3。もう少し、ほり
きつていきます。2e students のこと、たぶん、知っています。
と3です。

4) 学力、テスト、ナショナルカリキュラム、プログラム学習の
必要というものを、子ども達に接して、感じる
こと、ありますか？

佐藤真弓



① 学んだこと、身についたこと

入念に練られたワークには、

気づきがある。

価値設定によってはどの学習

(教科)にも応用が効く。
ふりかえりが大事。

② 改善点、… 特に思い付かない

③ ワークが到達するポイントの設定
を明確にしないと、詳細できないので
授業にブレが出る点。(ゴール(答え)はなくても
いいとお話されているが…)

④ 色々なワークを体験したり
話し合い場があるというところ。
(ワーク集・DVDなどに見られるところ)

横田 スズ子

野外教育

自然性 - 知識の
女子の学習

1) 考文のwijにわたり

- ・ 事象のわたり
- ・ 発想のわたり
- ・ 見方のわたり

→ 授業の变换力

2) 体験 - 思考の時間 - 工夫

自然の事物の観察の時間、及びその体験、思考、記入
 活動、材質の観察、観察の目的、観察の方法、観察の結果、
 観察の感想、観察の意義、観察の目的、観察の方法、観察の結果、
 観察の感想、観察の意義、観察の目的、観察の方法、観察の結果、
 観察の感想、観察の意義、観察の目的、観察の方法、観察の結果、
 観察の感想、観察の意義、観察の目的、観察の方法、観察の結果、

3) 野外の子自然物、植物、環境など

wj題材(教材)化しての工夫、色々の考文の工夫

- ・ 総合的学習、理科、理科、社会の教材化
- ・ 体験的学習、体験的学習、体験的学習、体験的学習
- ・ 自然の観察、自然の観察、自然の観察、自然の観察
- ・ 自然の観察、自然の観察、自然の観察、自然の観察

2) 観察、観察の工夫

市教育 齋藤

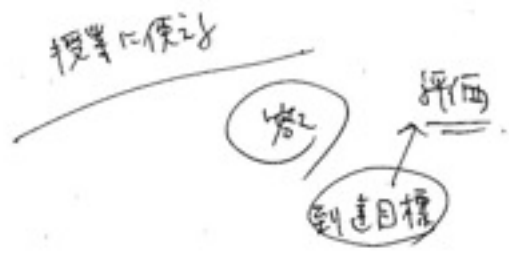
1) ~~自分の~~ 学んだこと、身についたこと。

この授業、
「ウツロ」

- ・ (自分は行政の人向きの) ワークショップで先生方の考えを聞いたこと
- ・ 学びの再確認。～興味・関心のあることは、いかに結びつけるか。
- ・ 野外教育・フィールドワークの可能性。～横断的、展開できる学習へ。
- ・ " のメリット。～カリキュラム上、場所的、時間的制約の中での展開にどう?

2) 改善点。

- ・ 興味、関心の低い方への発信方法。～先生方の必要性に応じた丁寧へ。
- ・ 関係機関、情報提供。～具体的に明日の授業に生かせる材料と。



3) 質向や感想、考えたこと

- ・ 野外教育・フィールドワークの有効性、可能性を改めて感じる事ができたことと、その課題について、考えさせられました。

4) その他。

- ・ 時間の流れが早く感じられました。ありがとうございました。

釧路市教育委員会 西館 慎

1) 学んだこと、身に付いたこと
ゲームを通じて、コミュニケーションスキルを学べた。
押しつ中もよく、気がおせる事が大事。

2) 改善点

3) 質問や感想。この研修中に考えていたこと。
別添小教課後活動「ことわ広場」にて今日学んだことを
こわすわすわ。

4) その他。
多くの先生が長と知りあひになり、今後の活動に
プラスになると思っています。

名刺 奈良泰世

1) 学んだこと 身についたこと.

学校で学習(授業)をする時に、題材をどういう視点で流れをつくるか いろいろな やり方や話を聞くことができた。自分がやってみる、考えてみると、関心が高まり、違う考え方があることにも気づき、授業の中でもっと取り入れられるといいなと思いました。

アクティビティを

2) 改善点.

年に2回くらい、研修をしたい!

3) 質問・感想・考えていたこと.

本環境の授業も考えた時に、他の先生方からの意見を聞いて、また お手紙をもらったことが嬉しかった。授業以前に、学級や学校へ、お互いの意見や考え方を尊重し合える 大切な雰囲気であることが、大切だなと突感した。

4) その他.

アクティビティを実践できるようにするには、自分の勉強が必要ですね。

柴田 清美

1) 学んだこと、身に付けたこと
環境教育をどう行うべきかについて考えたとき、
まず身近な利用できる点をちゃんと把握して、いろいろな器方式を
組み立て、いい授業も作れる。 きっかけを作ることは先生のやくわり

2) 改善点
子ども の目線
答にかわるかどうかは重要ではなく
答を採る過程も とても重要ではないか?

考えること 身近な環境を利用してはどうか
国語 ↔ 作文 ↔ 活動を終えたあと

3) 質問や感想 この研修中に考えていたこと
今回の研究会を通して感じたのは、環境教育は森の中で
子どもたちが自由に遊べる。森の中で ~~勉強~~ 自然について勉強できる。
しかし、そんなに自然に恵くられない都市でもゲームを通して
絵を画いたり、比較したり、これを通して環境教育 もとても効果的
な授業も作れる。
ちゃんと授業のねらいを考えて、さまざまな教科を利用できるなら
このことをすごく感じました。

北海道教育大学 釧路校
外 七ツ町
内 雪塚

1) 学んだこと、身に付いたこと

体験することで、^①あたり前に身近にあるものに関心を持つことができ、主体的に学んで(追究して)いくことができるのだと感じました。

子どもたちに主体的に学んでもらうには、先生がより多くのことを知っている必要があると思いました。

2) 改善点

学んだことが多く、今は満足しています。

3) 感想

色々な人の考えを聞きながら学ぶということが、自分の考えに深みや深まりを与えました。子どもも同じで、だから学校っていいんだよねあと思いました。

自分は自然や体験活動が好きで、興味がありますが、先生がみんなそういう訳ではないので、今日学んだことをどう広げていこうかと考えていました。まずは自分が実践していくこと、ですね。

小林 裕子

- 1) 学んだこと身についたこと
- 2) 改善点
- 3) 質問感想・この研修中に考えていたこと
- 4) その他

1) 生態系について考える際に、講義形式ではなく、実際にゲームをしながら考えていくと主体的に考えられました。活動をして、しかり振り返りを行い、自分の考えを言葉にすることで、学びにつながっていくと感じました。
今日教えていただいたゲームは学級でやってみたく思います。

2) もりよし アクティビティ(野外活動)を知りたかったです

3) 色々な方とグループになり話すことができ、考えが深まったと思います。野外教育について新しく知ることができました。自分なりに工夫し教科とつなげていけるよう考えていきたいです。
また、自分で考えた活動計画を複数の人と話すことで、自分では気づけなかった点を知ることができると、これからもやっていきたいと思いました。ありがとうございました。

加藤 慧

○学んだこと、身に付いたこと。

→ 日常の生活の中で当たり前にあるものの
役割にたいして深く考えよとアドバイス。
物事を考えるきっかけをどうするかは子ども
任せといふかかわりが大切で、主権は子ども
にゆだねるべきかにも繋がるといふことだ。

○改善点

→ 自然の色んな見方考え方。

教師評定と引き出しをもっと増やしたい。

子ども目録も大切にしてあげよう今年度

授業づくりの中で学ばせながら進めたい。

○感想

体験活動の
重要性

今後の学校教育で環境教育が

より多くの場面で活用できるように

していきたいと地域で話をうけて自分

自身からなめていきたい。

始めに、自分が学んでいく時の

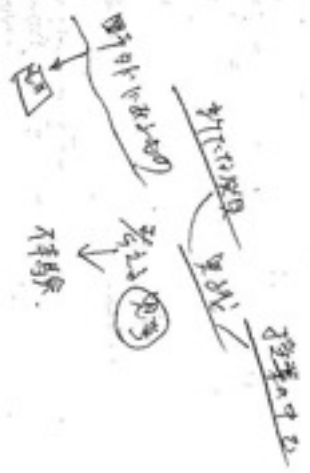
興味関心があるものに出会えるように

むかひしい課題に出会えるように書

たが、本音がよく出てくる

了らないうちに、時を学ばずには
感じたい。

子どもの学校現場へ入るといって
環境教育と進めたいという感じの
学校の校庭は身近な場所です。学校の
絶対の場所ではないです。



田中綾子